

令和3年度「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み[市長部局]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	新規 拡大	番号
必要な 社会的 となる 職業 資質 ・自 能力 を向 けて 付け る	ながさき若者会議の運営 (「長崎×若者」推進費)	15歳～34歳までの若者で構成する「ながさき若者会議」の運営を継続し、若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる仕組みを充実させるとともに、そこから生まれた若者のチャレンジの実現に向けた支援を行う。	都市経営室		1
	SNS等情報発信事業 (若年者雇用促進費)	「長崎で働く」をテーマにした番組を制作・放送するとともに、動画投稿サイトやSNS等を活用し、市内外の学生や保護者に周知することで、地元企業の認知度向上を図る。	産業雇用政策課		2
	企業紹介ポータルサイトの制作 (若年者雇用促進費)	企業紹介書籍(NAGASAKI WORK STYLE)の記事を活用した企業紹介ポータルサイトを制作し、サイト内に地元企業の情報や各種事業の情報を集約し、市内外の学生や保護者に発信することで、地元企業の認知度向上を図る。	産業雇用政策課		3
	高校生チャレンジショップ事業	若者の企画やアイデアを実現につなげるための「チャレンジできる場」の仕組みをつくることで、若者に「選ばれるまち」を目指すため、高校生の企画、運営によるチャレンジショップを実施し、将来的な地元就職や創業について検討するきっかけをつくる。	商工振興課		4
	企業見学バスツアー (長崎工業会補助・ものづくり支援費)	長崎市域内の製造業を中心に、人材育成・生産性向上等の競争力強化や人材確保等の経営力強化を行う長崎工業会の取組みを支援する。 このうち、企業見学バスツアーについては、高校生の地場企業の魅力や仕事への理解を深め、興味や関心、就職意欲を高めることを目的とする。	商工振興課		5
	子ども農山漁村交流体験 (グリーンツーリズム推進費)	小中学生が農山漁村の文化や豊かな自然に親しみ、グリーンツーリズムの体験を通して地域の人と触れあい豊かな人間性を育む。	農林振興課		6
	環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の製作・配布 (環境啓発推進費)	授業で環境に関する学習を行っている市内小学校の5年生に対し、環境副読本「わたしたちのくらしと環境」を製作・配布し、環境学習におけるサポートや環境保護意識の高揚を図る。	環境政策課		7
	親子環境教室の実施 (環境啓発推進費)	小中学生が長崎の山・海・川の豊かな自然に親しみ、そこに住む生き物に触れることで自然環境保護意識の高揚を図る。	環境政策課		8
	小学校社会科副読本「くらしとリサイクル」の製作・配付 (資源ごみ処理費)	授業でごみ処理に関する学習を行っている市内小学校の3年生、4年生に対し、環境教育の補助教材「くらしとリサイクル」を製作・配布し、くらしとリサイクルのしくみを知る。	廃棄物対策課		9
	長崎市地域福祉の森	長崎市老人福祉施設協議会と共催で小学校高学年向けに1泊2日の介護体験研修を実施し、将来の職業選択の場面において、介護職の道へつながるような意識の醸成を図る。	介護保険課		10
	学校における模擬選挙	将来有権者となる中学生を対象に模擬選挙を実施することで、社会の一員であるという自覚を持ってもらい、政治・選挙の意義や仕組みを知る。	選挙管理委員会		11
	理系女性人材育成事業	女子児童・生徒及び保護者を対象に、理系に関わる仕事に興味を持ってもらう講座を開催することで、進路検討段階にある女子児童・生徒が理系分野に興味を持ち、将来の進路選択の1つとして考える場を提供する。	人権男女共同参画室		12

令和3年度「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み[市長部局]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	新規 拡大	番号
グローバルな視点を身に付ける	(仮称)ながさき若者会議の運営 (「長崎×若者」推進費)【再掲】	15歳～34歳までの若者で構成する「ながさき若者会議」の運営を継続し、若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる仕組みを充実させるとともに、そこから生まれた若者のチャレンジの実現に向けた支援を行う。	都市経営室		13
	子どもゆめ体験事業	次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市等に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じるにより、国際性を有する人材の育成を図る。	国際課		14
	国際理解出前講座	国際交流員が団体や学校からの申込みを受け、出身国の文化、生活習慣、社会情勢などを日本語で紹介することにより、市民の異文化理解を深める。	国際課		15
	外国文化体験出前講座	将来の国際交流の担い手となる小・中学生を対象として、学校からの申込みに応じ、国際交流員が各国の文化や料理等を授業の一環として体験してもらうことで、外国に対する理解を深め、国際交流のきっかけをつくる。	国際課		16
	異文化ちゃんぽんフェスタ	市民(特に小・中学生)及び外国人住民に世界各国の文化を紹介するイベントを実施し、異文化に対する理解を深めるとともに、市民と外国人住民の国際交流のきっかけをつくる。	国際課		17
	あじさいEnglish Day ～Kid'sコース～	長崎市国際ボランティアが企画・運営し、長崎市内の小学生(1～3年生)を対象に、外国人とのコミュニケーションやゲームを通じ、英語に触れ合いながら国際交流を体験してもらう。	国際課		18
	姉妹都市高校生の平和祈念式典への招待(平和祈念式典行事費)	平和祈念式典に招待する姉妹都市の高校生と市内の青少年がピースフォーラム等の機会を捉えて交流を図る。	調査課		19
	青少年平和交流	日本の将来を担う高校生が、被爆の実相を学び、核兵器を巡る国際情勢が緊迫する中、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)や現地平和教育機関と共同で現地の若者と意見交換会を開催し、互いに学び合うことで、世界に向けて原爆の悲惨さや平和の尊さを発信することを目的に、高校生を海外へ派遣する。	被爆継承課		20
長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力を養う	(仮称)ながさき若者会議の運営 (「長崎×若者」推進費)【再掲】	15歳～34歳までの若者で構成する「ながさき若者会議」の運営を継続し、若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる仕組みを充実させるとともに、そこから生まれた若者のチャレンジの実現に向けた支援を行う。	都市経営室		21
	長崎〇〇LOVERSプロジェクト	長崎の多様な魅力を市民が自ら考えて伝える取組みとして、長崎〇〇LOVERSプロジェクトを推進している。長崎〇〇LOVERSのロゴマークの〇〇に長崎市民の皆さんがスキな長崎の「モノ・コト・バショ」を入れて楽しみながら発信することで、これまで知らなかった長崎の魅力を自ら考えてもらい、長崎のことをさらに好きになっていくとともに、域外の新たな長崎ファンの創出につながるプロジェクト。	長崎創生推進室		22

令和3年度「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み[市長部局]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	新規 拡大	番号
長崎のまちを愛する気持ちと それを行行動に移す力を養う	長崎開港450周年記念事業	長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくために、次の50年に向け、歴史や文化を受け継ぎ、新しい産業を創造する機会として、令和3年(2021年)度に長崎開港450周年記念事業を実施。 長崎開港450周年記念事業を通じて、未来を担う子供たちに、長崎の海や長崎の歴史のすばらしさに目を向けてもらい、長崎開港500周年を目指して、新しいながさき港の姿を創っていくきっかけとする。	開港450周年事業推進室		23
	平和学習発表会開催 (平和学習活動費)	長崎市の中学校の代表が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果発表などを通して、各学校における生徒の平和の取組みを発展させる機会とする。	被爆継承課		24
	青少年平和交流【再掲】 (青少年平和交流費)	日本の将来を担う高校生が、被爆の実相を学び、核兵器を巡る国際情勢が緊迫する中、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)や現地平和教育機関と共同で現地の若者と意見交換会を開催し、互いに学び合うことで、世界に向けて原爆の悲惨さや平和の尊さを発信することを目的に、高校生を海外へ派遣する。	被爆継承課		25
	青少年ピースフォーラム (青少年ピースフォーラム費)	8月9日の平和祈念式典にあわせて、全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と長崎の青少年と一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図り、被爆地長崎から平和を発信する。	被爆継承課		26
	青少年ピースボランティア育成 (青少年ピースボランティア育成費)	青少年が被爆の実相や戦争について学び、さまざまな視点から平和について考え、行動することにより、長崎の被爆体験の継承と平和意識の高揚を図る。	被爆継承課		27
	放課後子ども教室	小学校区において、放課後又は週末等に小学校等を使用し、地域と学校が連携・協力して、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、地域や地域住民を知る。	こどもみらい課		28
	長崎学児童研究コンクール	郷土長崎市に関わる歴史、地理、伝統などの研究を通して、郷土に対する関心を高め、郷土の歴史や文化を大切にしている心情を養う。また、児童の郷土研究を顕彰することで次世代の長崎学継承者を育てることを目的とする。	長崎学研究所		29
	景観まちづくり教育	将来のまちづくりの担い手となる子どもたちが、「景観」を通して自分たちのまちの歴史や文化等にふれ、郷土愛を高めるなど情操教育を行うことを目的に、「地域に住みたい、戻りたい、貢献したい」と思う大人へと成長し、次世代のまちづくりを担いたいと思う若者の育成の一助となるため、小学生を対象とした景観教育を行う。	景観推進室		30
	長崎街道シュガーロードPR (長崎街道シュガーロード推進費)	「学校等と連携したシュガーロード講座」を小学校にて開催し、将来の担い手となる子どもたちが、日本遺産「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」のストーリーを通して自分たちのまちの歴史や文化を知り、考え、郷土愛を深め、シビックプライドの醸成を促すことを目的とする。	商工振興課	新規	31
	公共花壇デザインコンクール (花と緑の安らぎあるまちづくり 促進事業費)	市内の小学生からの公共花壇のデザインの募集、選定審査会での選考、表彰、植栽式等を行う。	土木総務課		32

令和3年度「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み[教育委員会]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	新規 拡大	番号
必要な 社会的な 職業的 ・自立 能力を 向けて 付ける	中学生議会 (キャリア教育推進事業)	市立中学校生徒会のリーダーが市議会議場にてテーマに基づき意見交換を行う場を設けることで、自主性、リーダー性、企画力、創造力等の向上と、各学校の生活会活動の活性化を図る。	学校教育課		33
	キャリア教育講師の派遣 (キャリア教育推進事業)	地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を小中学校に派遣し、職業講話などの交流を行うことを通して、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする態度を育成する。	学校教育課		34
	宿泊体験推進事業 (キャリア教育推進事業)	小学5年生の全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課		35
	市立学校間ふれあい交流 (キャリア教育推進事業)	極小規模校の児童生徒と中規模・大規模校児童生徒のふれあい交流により、集団規模による個々の役割の違い、児童・生徒活動の運営方法の違い、規模によらない共通点などを捉え、児童生徒の人間関係力、コミュニケーション能力の向上を図る。	学校教育課		36
	いわき市との交流 (キャリア教育推進事業)	福島県いわき市の中学生と長崎市の中学生在が平和学習の成果を交流することによって、平和追求の思いや考え方について相互理解を深めるとともに、日ごろ各学校のリーダーとして活躍する中での喜びや悩みについて意見交換を行い、リーダー性の向上を図る。	学校教育課		37
	弁護士による法教育 (キャリア教育推進事業)	小・中学校において弁護士による「法教育」を実施することによって、法を正しく理解し社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする心を育てる。	学校教育課		38
	キャリアパスポート (予算計上外)	小・中・高等学校でのキャリア教育での児童生徒の活動を記録し蓄積する「キャリア・パスポート」の活用について指導を行う。あわせて、基本となる様式を教育委員会で作成し、学校に提示することで、学年間・校種間の引継と連携の効率化を図る。	学校教育課	新規	39
	長崎商業学科改編 (予算計上外)	令和2年度に設置した「長崎市立長崎商業高等学校学科改編審議会」の意見取りまとめを踏まえ、経済のグローバル化、ICTの進歩、観光立国の流れなどを踏まえ、ビジネスを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成と長崎の未来を担う人材の育成を目指した学科改編の準備をすすめる。	学校教育課	新規	40

令和3年度「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み[教育委員会]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	新規 拡大	番号
グ ロ ー カ ル な 視 点 を 身 に 付 け る	長崎の宝発見・発信学習推進事業(キャリア教育推進事業)	長崎の歴史や世界遺産、海外との関わりの中で生まれた独自の文化を学習する活動を、小・中・高の発達段階に応じて準備し、そのよさを実感させることで、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できる児童生徒を育成する。 ・ジュニア版歴史学校コース:長崎市内立小学校対象で長崎市の歴史を知るために市内の施設や史跡をめぐり、郷土のよさを学ぶ学習活動 ・世界遺産発見コース:長崎市内立中学校対象で長崎市内にある世界遺産をめぐり、その歴史や価値について気づき考える学習活動 ・長崎LOVERS育成コース:長崎市内立長崎商業高校対象で、海外との交流などにより育まれた長崎独自の歴史や卓袱料理等の長崎の文化を体験する学習活動	学校教育課		41
	あじさい・イングリッシュ・スピーチ・コンテスト(国際理解教育推進費)	市立中学生が対象。国際共通語である英語を使って「ふるさと長崎」に関する話題について発信することを通して、国際舞台で活躍できる人材を育てることを目的とする。	学校教育課		42
	あじさい・イングリッシュ・デイ(国際理解教育推進費)	市内の小中学生対象。外国人(ALT)と英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体感させたり、日頃の英語学習の成果を試したりする機会を提供する。英語力の向上と国際感覚の醸成を図るとともに、グラバー園内で洋風建築を見たり、外国人貿易商等の活躍を知ったりすることで郷土愛を育てる。	学校教育課		43
	英語寺子屋(国際理解教育推進費)	市立の中学生が対象。市が求める温かなコミュニケーション能力と、国が求める英語力(英検3級相当)の育成を図るために中学校にEEIを派遣し、おもてなし英語講座や学力向上講座を提供する。	学校教育課		44
	あじさいグローバルリーダー研修会(国際理解教育推進費)	市立中学生が対象。あらゆる人々との共生の道を探ろうとする豊かな心を育てるとともに、長崎のよさを再発見させることでグローバルな視点を持って長崎のまちづくり(社会づくり)をしようとする「担い手」を育てることを目的とする。	学校教育課		45
	対話型平和学習の推進(平和教育推進事業)	「平和の創造」を新たな柱に加えた新しい平和教育の推進を通して、「他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる児童生徒の育成」をめざす。具体的には、平和学習教材「平和ナガサキ」を使用した事前、事後の学習などを行った上で対話型授業を行い、平和について多面的・多角的に考える過程の中で、国際協調の精神を育む。	学校教育課		46

令和3年度「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み[教育委員会]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	新規 拡大	番号
長崎のまちを愛する気持ちと それを行動に移す力を養う	長崎の宝発見・発信学習推進事業(キャリア教育推進事業) 【再掲】	長崎の歴史や世界遺産、海外との関わりの中で生まれた独自の文化を学習する活動を、小・中・高の発達段階に応じて準備し、そのよさを実感させることで、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できる児童生徒の育成を目的とする。 ・ジュニア版歴史学校コース:長崎市立小学校対象で長崎市の歴史を知るために市内の施設や史跡をめぐり、郷土のよさを知る学習活動 ・世界遺産発見コース:長崎市立中学校対象で長崎市内にある世界遺産をめぐり、その歴史や価値について気づき考える学習活動 ・長崎LOVERS育成コース:長崎市立長崎商業高校対象で、海外との交流などにより育まれた長崎独自の歴史や卓袱料理等の長崎の文化を体験する学習活動	学校教育課		47
	中学生議会 (キャリア教育推進事業) 【再掲】	市立中学校生徒会のリーダーが市議会会議場にてテーマに基づき意見交換を行う場を設けることで、自主性、リーダー性、企画力、創造力等の向上と、各学校の生活会活動の活性化を図る。	学校教育課		48
	宿泊体験推進事業 (キャリア教育推進事業) 【再掲】	小学5年生の全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課		49
	いわき市との交流 (キャリア教育推進事業) 【再掲】	福島県いわき市の中学生、東京都国立市の小学生と長崎市の小・中学生が平和学習の成果を交流することによって、平和追求の思いや考え方について相互理解を深めるとともに、日ごろ各学校のリーダーとして活躍する中での喜びや悩みについて意見交換を行い、リーダー性の向上を図る。	学校教育課		50
	まちづくりアイデアコンテスト (キャリア教育推進事業)	これからのまちづくりを担っていく子どもたちに、自分たちもまちづくりの主役であるという意識(当事者意識)を育て、地域や社会をよくするために何をすべきかについて考え、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 令和3年度は、長崎開港450周年にあたり、1571年の開港後長崎港が育んできた歴史や文化の継承とシビックプライドの醸成をねらいとする「長崎開港450周年記念事業」との連携で行う。	学校教育課		51
	恐竜博物館見学	長崎恐竜博物館での、展示資料見学や解説をとおして、長崎の自然史と過去の環境変遷について学ぶことができる。このことで、児童に「はるかな過去の長崎」の魅力を感じさせ、長崎を愛する気持ちの醸成を図る。	学校教育課 恐竜博物館 準備室	新規	52
	平和フィールドワーク (平和教育推進事業)	中学生を対象に爆心地周辺などの被爆遺構を平和案内人の解説を聞きながら回る。この学習を通して、原爆被爆の実相を深く知り、「平和を創る人」としての意識を高める。	学校教育課		53
	原爆資料館見学 (平和教育推進事業)	小学5年生を対象に実施する。原爆資料館見学で原爆による被害の様子や平和に向けた国内外の動きを知ること、次代を担う子どもたちの平和学習の意識を高める。	学校教育課		54